

受賞名：優秀賞

タイトル：「ありがとう、おまわりさん。」

氏名：寺田 圭吾

小学校名：群馬県 国立群馬大学共同教育学部附属小学校 二年

ぼくがほいく園のころのことです。ほいく園からいえにかえると中、しんごうまちをしていると、後ろの方でドーンと大きな音がして、車が前にうごきました。おかあさんは、すぐに近くのちゅう車じょうへ車をとめました。おかあさんが、けいさつにでんわをし、おまわりさんをまつことになりました。でんわがおわると、おかあさんは「なんでまた。」と言い、すわりこみ、ないているように見えました。なぜなら、おかあさんのおなかの中には、赤ちゃんがいたからです。また、前の月にも、おかあさんは同じくしんごうまちで車をぶつけられていました。ぼくは、おなかの中の赤ちゃんがしんでしまうのではないかと、とてもしんばいになりました。

けいさつ車りょうがとうちゃくしました。おまわりさんはすぐにおかあさんの車のマタニティマークに気がつきました。

「にんしんされていますね。体ちょうはわるくないですか。むりをしないでください。」

と、しんばいそうに言ばをかけていました。ぼくにも、

「ぼく、こわかったね。えらかったね。いたいところはないかな。」

と、やさしい言ばをかけてくれました。ぼくはずっとこわかったので、おまわりさんの言ばであんしんして、思わずないてしまいました。そのあと、二人のおまわりさんたちは、じこのじょうきょうをかくにんしていました。とてもしんけんにていねいにしごとをしていて、かっこいいと思いました。

じこのときのおまわりさんへ。おなかの中にいた赤ちゃんは、その年のおわりに生まれましました。やんちゃでよくわらう元気いっぱい弟です。ぼくもおまわりさんのように、人の気もちが分かる、やさしくてかっこいい人になりたいです。ありがとうございました。